

燦々便り 57

春の訪れを待ち遠しく思う季節の筈ですが、今年も少し、様子が違います。

新型コロナのせいですね。私達は、わからないものを恐れます。研究が進んで、解決法が確立するまでの時間をじっと耐えて過ごさねばならないのでしょうか。

私が思うのは、誰もが恐れるのは、人にうつしたらどうしよう！という不安です。(自分だけなら、かかろうが、死のうがかまわない！と思っても)

人に迷惑をかけてはいけない。正しい言葉だから反論が出来ません。

この不安にかられると、すべてが消極的になります。でもスポーツの世界はそれに挑んできた歴史かもしれません。オリンピックの体操競技やスノーボード等、ケガしたらどうするの？

思わず言ってしまうそうです。

でもこれは人にあまり迷惑はかけませんが。

この時間をどう過ごせばいいのか、医療関係者は必死でしょうし、私達はそれに耐えうる体づくりくらいしかないのでしょうか、

テニスでも始めの頃、そろそろ試合にでてみませんかと言うと「負けるの嫌だから出ない！」という答えが返ってきて、戸惑ったものでした。

ボールを追いかける楽しさを覚えたら、次は自分で考えることを楽しんでいただきたい。

それに挑戦しなくては！と私は思ってしまうのです。

私達が受けてきた教育は受け身だったと思います。黒板の字をうつしてひたすら、暗記する。そんな記憶があります。

そして、言われてきたことは机の上の理論と現実とは違う。でした

現実の世界は予測のつかないことばかりです。学者たちは、過去の例を勉強して、今の問題に取り組もうとします。偉い人の答弁に、前例のないことなので、出来ません。が多いです。

でも、前例のないことに、私達はぶつかってばかりではないでしょうか。

自分で判断し、行動する練習をローカルテニスですが、学んでみませんか？

大変な時ですが、明けない夜はない。と信じて進みましょう

燦々カップ 結果報告

2月21日

優勝 今井、清水

準優勝 植垣、橋本

2位の部 1位 沼田、松本

3位の部 1位 藤本、谷村

小さな試合ですが、経験を積んで下さい

燦々カップ 予定

3月27日(金)

4月24日(金)

5月15日(金)

種目 女子ダブルス

場所 野洲河川コート

時間 10時半スタート

申し込み HP、能勢迄

びわこ選手権

3月11日(水)

なんとか開催したいと

粘るだけ、粘って見ようと
頑張ってみました。

申し訳ありません。

